

● 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当(実施する場合)	毎年12月31日 毎年6月30日
公告方法	電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。(http://www.toaoil.co.jp) ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページ <http://www.toaoil.co.jp>

当社はホームページを重要な情報発信源のひとつとして認識しており、決算情報や環境・社会貢献活動などを適宜掲載しております。ぜひ、ご覧ください。



このレポートは適切に管理された森林から生まれた「FSC認証紙」を使用し、環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。



株主の皆様へ

第138期中間ご報告

平成22年1月1日 ▶ 平成22年6月30日

Contents

- 株主の皆様へ
- 四半期連結財務諸表
- トピックス
- 会社概要
- 株式情報
- 株主メモ

 東亜石油株式会社

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社並びに当社グループの 第138期上半期（平成22年1月1日～平成22年6月30日）における営業の概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長

小本 裕



営業の概況

当上半期におけるわが国の経済は、大企業製造業を中心に景況感が改善し景気回復の裾野は着実に広がっていると言われておりますが、欧州の景気回復鈍化や米国・中国経済の減速懸念など世界経済の先行き不透明感や円高・原材料高など日本経済の前には懸念材料が山積している状況であります。

石油業界においては、平成22年上半年（平成22年1～6月）で、軽油、A重油およびB・C重油の各油種の販売数量では前年同期割れとなりましたが、ガソリン、ジェット燃料油、灯油では前年の景気低迷による反動などから前年同期比で若干増加となり、燃料油合計では前年同期実績を上回ることとなりました。しかしながら、石油業界全体としては依然厳しい経営環境が続いております。

当上半期において、当社は京浜製油所水江工場において大規模な定期修繕工事を無事完工するとともに、京浜製油所の各装置は計画通りに操業を続けましたが、急速に進む構造的な石油需要の減少により京浜製油所においては従来の高稼働が維持できる状況になく、原油および原料油処理量は、3,772千kl（前年同四半期比14.3%減）となりました。

また、本年4～5月に行われた大規模な定期修繕工事の影響等により、原油精製委託契約において市場価格に基づき算定される精製マージンは、減少しております。

一方、電気事業で使用する燃料仕入に係る損益状況については、比較的安価な燃料の使用が増加したことなどによって、当上半期においては改善が図られました。

このような経営環境の下、当上半期の業績は、売上高17,195百万円（前年同四半期比10.6%減）、営業利益954百万円（前年同四半期比863.0%増）、経常利益591百万円（前年

同四半期は156百万円の経常損失）となりました。

また、当社は、平成22年12月期第2四半期において保有有価証券につき、減損処理による投資有価証券評価損を計上しております。

以上の結果、当上半期の四半期純利益は195百万円（前年同四半期比50.6%減）となりました。

当社は、平成22年2月16日開催の取締役会において、京浜製油所扇町工場（当社の親会社である昭和シェル石油株式会社所有し、当社が賃借している。）の運営を停止し、その後、閉鎖することを決議しております。この決議は、昨今の国内外の厳しい事業環境において、当社の競争力を強化していくためには、精製設備の集約による更なる効率運営、付加価値の最大化が必須であるとの結論に至ったことによりなされたものであります。

京浜製油所水江工場の更なる競争力強化のための精製設備等の再構築を推進し、当社のコーポレートビジョンであります「アジア最強の競争力を有する製油所」を現実のものとしなければならないことが、当社の喫緊の課題であると言えます。このため、可能な限りの経営資源を集中し、プロジェクト体制を組んで水江工場の精製設備等の再構築に鋭意取り組んでまいります。また、同時に並行して、TPM活動（全員参加の生産保全活動、PART-2として展開中であります。）やCCPC（コストカットプロモーションコミッティー）の活動、並びにトップダウンによる削減活動を含めて全社一丸となりコスト削減を強力に推進してまいり所存であります。

なにとぞ、株主の皆様におかれましては、企業価値を高めるための当社グループの以上のような姿勢に対しまして倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経営理念

Management Philosophy

01

HSSE（安全・環境・危機管理・健康）の確保を経営の基盤とする。

02

創意工夫と技術革新により常に改善を進め、持続的発展をはかる。

03

グループ及び協力会社との協力関係を一層促進し、相互の繁栄をはかる。

04

人材・能力の開発に努め、相互理解と信頼に基づく活力溢れる人間集団を形成する。

05

公明正大で透明性のある経営を行い、社員が会社の発展と明るい未来に誇りと喜びを語る企業風土をつくる。

東亜石油グループはHSSE（安全・環境・危機管理・健康）の確保を基本として社会・環境と調和し、さらに地域社会と共生を図りながら、企業活動を行っていくことが長期にわたって持続可能な発展を遂げていくために必要であると考えています。私どもは今後もこの経営理念のもと、高い品質の石油製品と電力を安定的に皆様の元にお届けしていきます。



● 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当第2四半期末 平成22年6月30日現在	前期末 平成21年12月31日現在
資産の部		
流動資産	43,126	57,663
固定資産	62,830	60,450
有形固定資産	59,353	55,011
無形固定資産	238	288
投資その他の資産	3,238	5,151
資産合計	105,957	118,113
負債の部		
流動負債	68,924	75,879
固定負債	14,268	19,181
負債合計	83,193	95,061
純資産の部		
株主資本	20,730	21,033
資本金	8,415	8,415
資本剰余金	4,687	4,687
利益剰余金	7,631	7,934
自己株式	△ 3	△ 3
評価・換算差額等	164	184
その他有価証券評価差額金	164	184
少数株主持分	1,868	1,833
純資産合計	22,763	23,051
負債純資産合計	105,957	118,113

(注) 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

単位：百万円

科目	当第2四半期(累計) 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで	前第2四半期(累計) 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで
売上高	17,195	19,234
売上原価	15,452	18,400
売上総利益	1,743	833
販売費及び一般管理費	788	734
営業利益	954	99
営業外収益	27	131
営業外費用	390	386
経常利益(△は経常損失)	591	△ 156
特別利益	74	422
特別損失	167	—
税金等調整前四半期純利益	498	266
法人税、住民税及び事業税	30	49
法人税等調整額	237	△ 137
少数株主利益(△は少数株主損失)	35	△ 40
四半期純利益	195	394

(注) 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当第2四半期(累計) 平成22年1月1日から 平成22年6月30日まで	前第2四半期(累計) 平成21年1月1日から 平成21年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	418	743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,475	△ 1,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,550	586
現金及び現金同等物の増減額	△ 506	△ 151
現金及び現金同等物の期首残高	5,468	4,469
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,961	4,318

(注) 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

CHECK POINT

総資産

総資産は105,957百万円となり、前期末に比べ12,156百万円の減少となりました。これは主に立替揮発油税等が減少したことによるものです。

負債

負債は83,193百万円となり、前期末に比べ11,868百万円の減少となりました。これは主に未払揮発油税等が減少したことによるものです。

純資産

純資産は22,763百万円となり、前期末に比べ287百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が、配当の支出により減少し、また、その他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

特別損失

保有有価証券につき、減損処理による投資有価証券評価損を計上しております。

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加、修繕引当金の減少などにより資金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、未払費用の増加などにより418百万円の純収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより、6,475百万円の純支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出などにより資金が減少したものの、短期借入金の増加により5,550百万円の純収入となりました。

● 連結子会社の概要

商号	東亜テックス株式会社
所在地	神奈川県川崎市川崎区
資本金	40百万円
当社出資比率	100%
主な事業内容	当社の構内作業および石油精製業・電力卸供給事業に伴う副産品の仕入・販売等
商号	株式会社ジェネックス
所在地	神奈川県川崎市川崎区
資本金	2,800百万円
当社出資比率	60%
主な事業内容	東京電力株式会社に対する電力卸供給および当社に対する電力・蒸気の供給等

集約化と高付加価値へ加速！ **アジア最強の製油所を目指して**

水江工場、ジェネックス水江発電所 大規模修繕・点検工事 無事終了

4月から5月にかけて水江工場およびジェネックス水江発電所の大規模な定期修繕・点検工事が実施されました。また、工事のための運転停止・開始作業の環境への影響も大幅に改善されました。

今回の工事にあたっては、次の2つの項目を大きな目標としました。



1 労働災害ゼロでの 工事完遂

①の“労働災害ゼロ”達成には多くの施策を講じましたが、毎日の安全パトロールに加えて、毎週金曜日に災害防止協議会と合同で行った役員安全衛生パトロールもその一つです。高所作業での転落防止策の実施状況、重機周辺での安全通路の確保、火気使用工事における安全対策実施状況等を確認するとともに、協力会社員への声掛けをして安全意識の高揚を図りました。4月7日から5月31日までの火気使用工事期間中に、延べ106千人の協力会社員が工事に従事しましたが、TRC（不休業災害）・LTI（休業災害）ともにゼロが達成できました。これは協力会社（災害防止協議会）と当社が協働して取組んだ大きな成果であり、良好点と改善点のレビューをして、次回の工事に反映していきます。

2 環境に配慮した運転停止・ 開始作業の実施

②の“環境への配慮”については、フレアスタックのパイロットバーナー改造、作業手順・方法の見直し等を行ったことにより、運転停止・開始作業期間中の環境への影響は大幅に改善されました。更なる改善を必要とする作業については次回に向けて対応を検討し、有効な対策を実行していきます。

今回の定期修繕工事・定期検査工事における2つの目標は、満点ではないものの、大きな成果をあげることができました。次回は更に高いレベルの目標達成ができるよう努力していく所存であります。

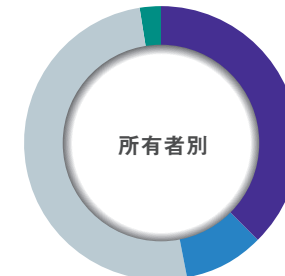
● 会社の概況

商号	東亜石油株式会社
英文商号	TOA OIL CO.,LTD.
設立	大正13年2月6日
資本金	8,415百万円
従業員	574名（連結646名）
敷地面積	108万㎡
本社	〒210-0866 神奈川県川崎市川崎区水江町3番1号 TEL：044-280-0600

● 役員

代表取締役社長	山本 裕
常務取締役	岡田 智典
取締役	山崎 恒
取締役	大久保 和弘
常勤監査役	柴田 憲一
監査役	落合 俊雄
監査役	中村 新

● 株式分布状況



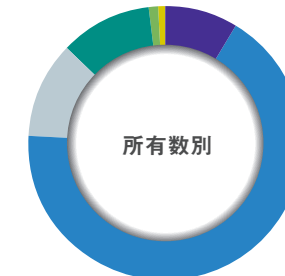
個人その他・自己株式	46,679,315株	37.5%
金融機関・証券会社	12,047,793株	9.7%
国内法人	62,937,792株	50.6%
外国人	2,770,100株	2.2%

● 株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式総数	124,435,000株
株主数	8,625名

● 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
昭和シェル石油(株)	62,344	50.1
東京海上日動火災保険(株)	2,184	1.8
角田 博	2,170	1.7
東亜石油従業員持株会	1,761	1.4
三井住友海上火災保険(株)	1,593	1.3
住友信託銀行(株)	1,433	1.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口4)	1,429	1.2
(株)損害保険ジャパン	1,292	1.0
ロイヤルバンクオブカナダ(チャネルアイランド) リミテッドレジアアカウント	800	0.6
(株)三井住友銀行	750	0.6
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (中央三井アセット信託銀行再信託分・ CMTB エクイティインベストメンツ(株)信託口)	750	0.6



1,000株未満	746名	8.7%
1,000株以上	5,816名	67.4%
5,000株以上	978名	11.3%
10,000株以上	940名	10.9%
50,000株以上	84名	1.0%
100,000株以上	61名	0.7%